

有識者の意見



アマタ株式会社
シニアコンサルタント
いのまた よういち
猪又 陽一氏

私がリケンテクノスの第三者意見を執筆するのは今年で3回目になります。初年度の2016年は常盤社長が代表に就任されて、3か年中期経営計画がスタートした年でもありました。その前年の2015年、企業を大きく変えるエポックメイキングな出来事が2つございました。それはパリ協定とSDGsです。その影響で国内でのESG投資が加速されたり、企業に求められるものがCSRからサステナビリティへと大転換し始めたのです。貴社も時代の要請に合わせてISO26000やSDGsなどグローバルスタンダードを意識した報告書へと大きく進化をしている中、昨年の第三者意見では、「①中期経営計画とCSRの一体化」と「②サプライチェーン上のCSR課題の見える化」を提言させて頂きました。

昨年の提言を受け止めていただけたのでしょうか、報告書では、バリューチェーンの特集を組んでいただけたことに感謝申し上げます。清水会長からのメッセージでも、今後、貴社における石油枯渇という最大のリスクへの対策や環境配慮型製品の開発など、サステナブルな施策を積極的に取り組んでいることが見受けられました。また、最近の話題になっている働き方改革についても、上司と部下の垣根を超えた「言える化」という生産性向上への活動も見られ、まさに、国内の社会課題である少子高齢化への対策を開始しているのを実感いたしました。この取り組みは今後の貴社の原動力になってくるものと確信しています。また、昨年指摘しました「中期経営計画とCSRの一体化」

を感じる部分が垣間見られました。環境問題の中で、貴社が「CO₂排出量の削減」「産業廃棄物の削減」「化学物質の管理」にプライオリティを置いていることを理解できました。今回は環境分野のマテリアリティを示されましたが、次回の中期経営計画では、CSR全体における明確な指標を盛り込むことも検討すべきでしょう。

今見てきたように、今年はSDGsを意識した報告書になっていましたが、今後、更に貴社らしさを伝えるために、来年に向けて2点提言させて頂きたいと思います。1点目は、今夏の異常気象に見られるように環境問題への対策は喫緊の課題となってくるでしょう。常盤社長のメッセージでも、最近では、外食企業自らがプラスチック規制を宣言するなど、企業側でも積極的に表明しています。また、CDPやSBT、RE100等の気候変動問題への対応開示、再生エネルギーの推進、CO₂削減に向けてのイニシアティブに参加する企業が増えているのもその兆候でしょう。貴社でも環境への具体的な取り組みを打ち出すべきではないでしょうか。

2点目は、CSR経営からサステナビリティ経営へと更に大きな一歩を踏み出すべきだと思います。現在、多くの企業ではSDGsに取り組む意欲は拡大していますが、本質的に経営と統合しているかといえばまだまだ進んでいません。今回の報告書でも、SDGsは示していますが、17の目標を既存の事業や商品に割り当てているだけの印象を受けました。もう一歩踏み込んで、「アウトサイド・イン」の考え方を取り入れて、貴社がどのような社会課題や環境問題を重要と考えていて、それに対して貴社の強みでどのように解決をしていくのかを示されてみたらいかがでしょうか。課題を起点にして、貴社の事業や商品を再整理することができるはずですが、おそらくそれが持続可能な社会を創ることにつながりますし、貴社が持続可能な企業へと発展していくことにつながると考えられます。来年の報告を楽しみにしております。

有識者の意見を受けて

リケンテクノス株式会社 代表取締役 社長執行役員 **常盤 和明**

2018年版のCSR報告書の特集では、「もの造り」の大きなバリューチェーンの中で当社が提供する価値、また取り組んでいる課題をご紹介しました。リケンテクノスグループがバリューチェーンの中で果たす役割をご理解いただけたら幸いです。

また、猪又様のご指摘にあるように、社会課題や環境問題を経営へ結びつけることは大変重要と考えております。現在、次期3か年中期経営計画を策定中ですが、サステナブルな経営を目指し社会に貢献できる経営計画としてまいります。

編集後記

3か年中期経営計画の最終年度となります2018年版CSR報告書を発行いたしました。企業にとって益々重要視されるSDGsとの関連性は、後半奇数ページ上部に配置しました。特に「地域の皆様とのかかわり」では、更に内容を充実させるためページ数を増やしました。そして「当社のバリューチェーン」をご理解いただくため、わかり易い図や写真を用いて表現いたしました。本報告書を通じてリケンテクノスグループの取り組みをご理解いただくとともに、本報告書への率直かつ忌憚のないご意見を賜りますようお願いいたします。

本報告書取扱部署代表者
取締役 上席執行役員 経営企画本部長 : 梶山 学之
編集メンバー
品質保証本部 マネジメントシステム部 : 井上 宏一、栗原 仁
経営企画部 企業ブランディンググループ : 吉岡 さやか、大林 美桜





リケンテクノス ウェイ

私たちは科学の力で
豊かさ、安心、快適を創り出す
チャレンジメーカーです
独創的で卓越した
樹脂素材の配合加工技術で
企業と人と社会に
新たな価値と喜びを提供し続けます

We are a challenger
that harnesses the power of science
to improve the quality of life
and create a safe, affluent society.
We continuously provide new value and satisfaction
to people, companies and society
through our original and superior formulations
and manufacturing technologies of multiple resins.

お問い合わせ先

この報告書の内容に関するご意見、お問い合わせは下記で承っています。

リケンテクノス株式会社 経営企画部

〒101-8336

東京都千代田区神田淡路町二丁目101番地 ワテラストワー

TEL:03-5297-1631 FAX:03-5297-1660

ホームページ

<https://www.rikentechnos.co.jp>

2018年9月発行

